

PCI DSS 準拠を目指す事業者必読の一冊！

PCI DSS

Version4.0 徹底解説

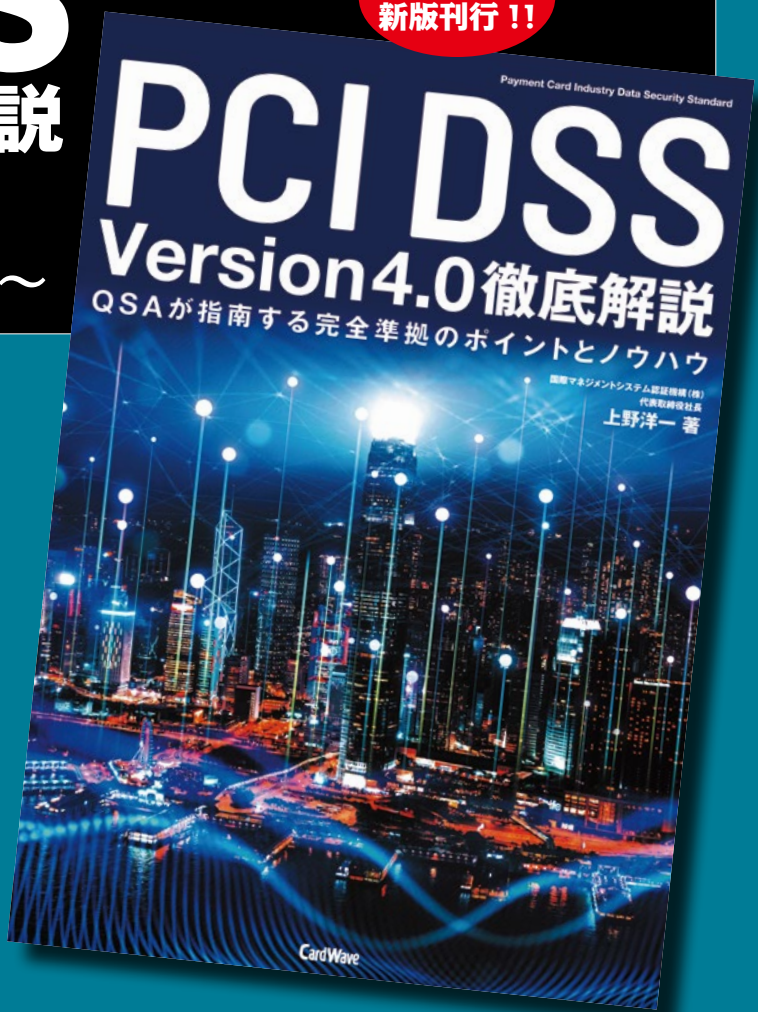
～QSAが指南する
完全準拠のポイントとノウハウ～

待望の
新版刊行！！

EC サイトへの不正アクセスやフィッシングなどによるカード情報の流出事件が後を絶たない。日本クレジット協会によると、2022年に発生したクレジットカード不正利用の被害額は過去最悪の436億7,000万円に上る。

こうした中、カード情報の国際セキュリティ基準である「PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard)」の最新版である「Version4.0」が2022年3月31日に発表された。

本書はもともと2011年に「PCI DSS Version2.0 徹底解説」として刊行され、その後「Version3.2」版を経て、今回「Version4.0」版として全面改訂を行ったものである。元来、PCI DSS の各要件は ISO 規格などと比較して具体的に書かれているが、原書（英語版）の翻訳という点も相まって解釈の余地が残されており、準拠に当たっては判断に迷う部分も少なくない。本書では、可能な限り読者の疑問を残さないことを目的に、より具体的かつ詳細に各要件を解説。PCI DSS の準拠を目指す事業者には、必読の一冊となっている。



『PCI DSS Version4.0 徹底解説』 Index

Part 1 PCI DSS 概要

- ・「非保持化」とPCI DSSの対応
- ・アカウントデータを扱う業務の流れ
- ・カード決済を行う事業者とPCI DSSの適用範囲
- ・加盟店/サービスプロバイダのレベル
- ・加盟店/サービスプロバイダの検証要件
- ・加盟店/サービスプロバイダの報告方法

Part 2 PCI DSS 準拠のための初段階

- ・対象となる環境と重要な前提知識
- ・PCI DSS 準拠におけるカード情報の扱い
- ・6つの目標と12要件
- ・PCI DSS Ver4.0 準拠に向けた留意事項
- ・オンサイト監査の概要
- ・自己問診の概要

Part 3 要件の詳細解説 (1～2)

- ・「PCI DSS V4.0」の構成と解説の内容
- ・安全なネットワークとシステムの構築および維持

Part 4 要件の詳細解説 (3～4)

- ・アカウントデータの保護

Part 5 要件の詳細解説 (5～6)

- ・脆弱性管理プログラムの維持

Part 6 要件の詳細解説 (7～9)

- ・強固なアクセス制御の実践

Part 7 要件の詳細解説 (10～11)

- ・ネットワークの定期的な監視とテスト

Part 8 要件の詳細解説(12 およびまとめ)

- ・情報セキュリティポリシーの整備
- ・まとめ

Part 9 「付録」と関連情報の補足

- ・マルチテナントサービスプロバイダ向けのPCI DSS 追加要件
- ・カード提示 POS POI 端末接続用にSSL/初期のTLSを使用する事業者向けのPCI DSS 追加要件
- ・指定事業者向け追加検証 (DESV)
- ・PCI DSS V4.0 素朴な疑問 FAQ
- ・QSA 監査あるある
- ・関連用語解説集

発行：株式会社インフキュリオン コンサルティング
著者：上野洋一（国際マネジメントシステム認証機構株式会社代表取締役社長）

装丁：A4判 324ページ
定価：50,000円（税別）

お求めは下記 EC サイトから
<https://www.fujisan.co.jp>